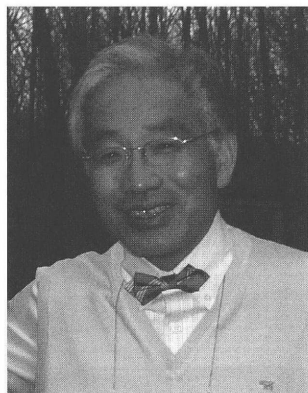


歯列咬合の機能と形態の発達支援を 目指して



ありた小児矯正歯科（長崎市） 有田 信一

略 歴

1977年	福岡県立九州歯科大学卒業
1977～81年	福岡歯科大学矯正学教室助手、柏木歯科小児歯科勤務を経て
1981年	ありた小児矯正歯科開設（長崎市城山町）
2000年	博士（歯学）号取得
1994年	ありた小児矯正歯科移転開設（宝栄町） 現在に至る

所属学会

日本小児歯科学会	専門医指導医
日本矯正歯科学会	認定医
日本口腔衛生学会	会員
日本障害者歯科学会	会員

はじめに（多くの子どもたちに矯正学の恩恵を）

矯正治療を主訴に来院していた子どもを診ている矯正科にいた私は、矯正治療を希望していない子どもの多くが不正咬合をもっており、矯正治療を受けることができる子どもはその一部で、その多くが親の歯への認識と経済力により決まるといふ現実を、小児歯科を開設して実感しました。そこで、「より多くの子どもたち矯正学の恩恵を！」を目標に、予防矯正への取組みを始めました。

すべての子どもを対象とした予防矯正プログラムの構築

現在、①予防矯正1（育児・生活支援型成育プログラム）、②予防矯正2（ホームケア口腔機能成育プログラム）、③予防矯正3（専門的口腔機能成育プログラム）、④乳歯列期矯正治療プログラム、⑤ⅢA期矯正治療プログラム、⑥全顎的矯正プログラム（マルチブラケット装置、外科矯正など）となっています。予防矯正1ならびに2がすべての子どもを対象とするプログラムです。予防矯正1とは、食事、睡眠、態癖と姿勢、悪習癖（指しゃぶりなど）、子どもと親への心理へのアドバイスで構成され、予防矯正2は口唇遊び、表情筋遊び等の機能のトレーニングで構成されている。この予防矯正1、2は保育園、幼稚園などの施設ならびに地域でも応用が可能なプログラムです。

私の基本姿勢

私が貫いてきた小児歯科医としての姿勢は以下の4つです。

1) 自分の仕事を検証する（小児歯科の臨床分野は低いエビデンスの事象が多い） 2) 地域の子どもたちの視点で見ていく 3) 医療格差、健康格差の是正を目指す 4) 小児歯科分野の全ての疾患の予防をめざす

まとめ

私が伝えたいことは以下の3つです。これらは、これからも変わってもらいたくない事項です。

1) 小児歯科は予防である 2) 小児歯科は地域の子どもたちの健康づくりである
3) 小児歯科は心と身体の健康づくりである